

会員数 58名 出席者35名・欠席者22名・免除会員9名
 欠 席 者 秋山憲・有家・麻田・林・和泉享・加内・松山・中野昌・曾川・岸上
 後藤・飯間・石合・稲田・谷川・大山・川原・齋賀・大西・谷本・会員

前々回出席率 56%(3/23)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 和泉 清憲
 幹 事 細谷 誠
 会報委員長 大西 信亮

お知らせ

4月のプログラム

- 5 (No.1)-夜間例会
- 13 (No.2)-クラブフォーラム
- 20 (No.3)-休会
- 22 (No.4)市民講座
- 27 (No.5)クラブフォーラム

ニコニコBOX;

60周年記念事業善行表彰ご協力ありがとうございました
 和泉君
 うちわミュージアムが移転オープンして
 眞鍋君
 IM報告を終えて
 大熊君
 善行表彰式ご協力ありがとうございました
 陶國君
 いつも事務局の立石さんがお茶やコーヒーの準備をしてくださっていることに感謝します
 藤井君
 IM報告を終えて
 市民講座第5回終了しました
 ありがとうございます
 岡田君

<ニコニコ会計累積/¥324,000>

がんばるBOX;

早退します
 秋山恒嘉君
 市民講座頑張りました
 塩田君

<がんばる会計累積/¥152,500>

例会場・事務局 丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

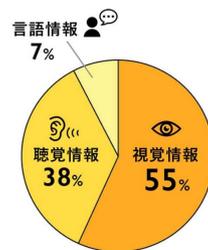
■会長挨拶

WBC野球大会、テレビをご覧になった方も多いと思います。球場の雰囲気も大声援ですごかったですね。コロナの影響で静かな試合が続いていましたから、特にそう感じたのかもしれませんが、盛り上がりや臨場感を感じるはその影響が大きいのと思います。12日にロータリー杯ミニバスケットボール大会がありました。開会式は山本青少年奉仕委員長、閉会式は私が出席したのですが、2試合ほど見学させていただきました。試合に参加している生徒は終始無言。「こっち〜」とか「ナイス！」とか何にも言いません。聞こえるのは、シューズの「キュキュッ」っていう音と、時折叫ぶ監督のオッサン声だけです。控えの選手や応援の父兄は、マスクをし無言で見守ります。声も表情もない試合、異様とも思える進行は、コロナ禍で3年間この状態での試合とのことでした。

「メラビアン」の法則」という言葉を聞いたことはありますでしょうか？別名「7-38-55ルール」ともいいますが、コミュニケーションをとるときに、言語・聴覚・視覚の3つの情報から判断していると仮定すると、言語情報が与える影響はたった7%、話すスピードやトーンなどの聴覚情報は38%、表情やジェスチャーなどの視覚情報は55%であるというものです。たとえば笑いながら叱っても、叱られているようには感じないし、納得のいかない表情で褒められても、褒められているようには感じないということです。マスク生活では少し大きめにジェスチャーをし、話すスピードやトーンに気を付けてしゃべらないと伝わりにくいということになります。

私はクラブ内では個人的には、表情が豊かな川原会員の笑顔や、普段から歌で伝えている立石さんのトーンや表情が好きです。

私は、カラオケで歌うと必ずと言っていいくらい岡田会員から「いやらしい」と言われてしまいますが、メラビアン」の法則に当てはまると、歌ってる顔がいやらしいってことになりますので、気を付けたいと思います。



■幹事報告

- ①トルコ地震への災害見舞金について、一人あたり1000円、合計58000円を拠出させていただきました。ご協力ありがとうございました。
- ②来週は坂出東ロータリークラブとの合同例会として観桜会となっています。なお送迎バスは17:30丸亀プラザホテル発です。利用される方は時間厳守でお願いいたします。

■例会事業;IM報告

岡田会員・・・参加した各クラブの自慢話をすることで、各クラブがそれぞれ5分間で話をしました。和泉会長もパワーポイントを5分に合わせて作成するなど、きちんと準備をして臨んでいました。他クラブと姉妹クラブを提携しているクラブも多かったです。丸亀ロータリーでも今後検討してもいいのでは思いました。久しぶりの懇親会は楽しかったです。

塩田会員・・・丸亀東の原さんは、IMでは懇親会をメインに考えているということ、いつもは知り合いと会話をする人が多いですが、クラブ自慢を1つのきっかけとして、いろいろなクラブの方と輪を広げることができればよかったです。

古川会員・・・高松ロータリーは、姉妹クラブが彦根と帯広西、高松東ロータリーは10年以上出席100%を続けていますという発表がありました。高松西は水戸南と秋田と姉妹クラブを結んでいます。私の出身の小豆の、当時の陸上部の2つ後輩と挨拶できました。

(裏へ続く)

大熊会員・・・久しぶりにIMに出席して、懇親会の出席者が220名。懇親会のジャズも素晴らしかったです。IMの難しさは、何をするのかというテーマは各クラブにおまかせなところ。以前、丸亀で伊藤さんがガバナー補佐を担当したときは、中津万象園の2Fで行いました。明日のロータリーを考えるとというようなタイトルで、パネルディスカッションで行いました。IMをするかゴルフをするかが8年に1度回ってきます。

天野会員・・・丸亀東の原さんの特徴がよくできていたIMでした。私自身が丸亀60周年の懇親会担当なので参考になりました。最近のIMは8クラブだけでやるのではなく、香川県の東の方と合同でやることが多くなり、丸亀は最近ゴルフを担当することが多いと思います。以前の地区大会は、まるまる2日間することが多かったが、1日目(前日)は懇親会のみになり、参加しやすくなりました。

藤井会員・・・丸亀の発表順は18クラブ中7番目で、和泉会長は真面目な内容を早口で話をしていました。人前で話すのは難しく会長は大変だと感じました。クラブ自慢では、国際奉仕についての話もあり、例えば東南アジアへ行き環境整備に取り組んでいるクラブもあることを知りました。他クラブが何をやっているのかあまり知らなかったので貴重な機会でした。

和泉会長・・・IMでは、60周年記念事業はどういうことをやっているのかについてご紹介しました。グローバル補助金を利用して、海外の奉仕事業をしているクラブもいくつかありました。海外も含め姉妹クラブについても検討してもいいのではと思いました。

■3月25日 60周年記念事業 市民講座

「もしもの時に備える防災対策」古川 芳久会員

自己紹介から始まり、四国の電信電話の歴史、丸亀電報電話局の歴史、NTT西日本の防災に関する取組、最近のNTT西日本の動向について説明しました。



1.自己紹介

- ・1951年(昭和26年)に小豆島で生まれる
- ・小・中学時代の思い出
- ・青春時代に経験したもの
- ・会社人生で得たもの

等

2.四国電信電話の歴史

- ・電信記念碑について(明治9年12月3日四国と本州を結ぶ)
- ・四国の電信は香川から!(明治10年3月四国初の電信が高松と丸亀で開始)
- ・四国の電話も香川から!(明治40年2月に高松で電話交換業務開始)

等

3.丸亀電報電話局の歴史

- ・明治10年10月 公衆電報取扱開始
- ・明治43年 3月 電話交換業務開始(加入数96)
- ・平成12年11月 丸亀支店営業窓口終了

等

4.NTT西日本の災害に関する取組

- ・NTTグループにおける災害対策の変遷
- ・設備とオペレーションに関する取組(災害に強い、信頼性向上、迅速な対応等)
- ・安心・安全への取組(防災訓練の実施、特設公衆電話の事前設置 等)
- ・発災直後の早期通信確保(災害用伝言サービス、災害対策機器の配備 等)
- ・南海トラフ地震香川県の被害想定

等

5.最近のNTT西日本の動向

- ・NTTグループフォーメーション
- ・NTT西日本のアセット
- ・地域のスマート化に資するサービス群の一部紹介
- ・地域活性化プロジェクトの一部紹介

等